令和５年度「子どもたちが自分でつかむ自分の未来」構想図

米原市立米原小学校

【学校教育目標】時をたいせつに　強みをいかし　和のある　米原小

学びを人生や社会に生かそうとする

将来の夢

自己肯定感の育成

やればできる

次も頑張ってみよう

自分の考えも受け止めてもらえる

表　彰
（全員表彰をめざす）

正解のない問い

フラットな関係性

仲間との切磋琢磨

達成

教師の「支援・励まし」

児童が目標をもってチャレンジすること	安心感をもって発言できる場
チャレンジまいばら100 詩の暗唱 マラソンチャレンジ100	対話型鑑賞（朝鑑賞）

つまずいても大丈夫

教師の不断の授業改善

一人ひとりの学びの場の保障

一人のつまずきを全体で引き受けていく「学び合い」

何ができるようになるか

どのように学ぶか

何を学ぶか

志

自己有用感の育成

認められている

他者の役に立てたという体験

役に立っている

児童が所属する集団

- 縦のつながり（縦割り活動）
  - ・異学年交流（色班活動）
  - ・委員会活動
  - ・クラブ活動
  - ・登校班
- 横のつながり（学級・学年活動）
  - ・学級（授業での「学び合い」、会社活動等の自治活動）
  - ・学年（学年行事，合同体育）

地域社会

- 地域とのつながり
  - ・中学校、園との交流
  - ・地域学習の成果物の発信（駅コンコース・新庁舎パブリックスペース）

教師の「勇気づけ」「ありがとう」「お陰さんで」「うれしい」

「あいさつ日本一をめざす」あいさつ運動